

# 衆議院決算行政監視委員会ニュース

平成 30.5.17 第 196 回国会第 2 号

5 月 17 日（木）、第 2 回の委員会が開かれました。

- 1 ①平成28年度一般会計熊本地震復旧等予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（承諾を求めるの件）（第195回国会、内閣提出）
- ②平成28年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（承諾を求めるの件）（第195回国会、内閣提出）
- ③平成28年度特別会計予算総則第20条第1項の規定による経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（承諾を求めるの件）（第195回国会、内閣提出）
- ・麻生財務大臣兼国務大臣（金融担当）、河野外務大臣、小野寺防衛大臣、うへの財務副大臣、小倉総務大臣政務官、岡本外務大臣政務官、秋本国土交通大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・各件について、宮本徹君（共産）が討論を行いました。
  - ・①及び③について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承諾を与えるべきものと決しました。（賛成－自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新、樽床伸二君、中島克仁君）
  - ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって承諾を与えるべきものと決しました。（賛成－自民、立憲、国民、公明、無会、維新、樽床伸二君、中島克仁君 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 濱村進君（公明）

- ・熊本地震の際の中小企業等グループ施設等復旧整備事業（グループ補助金）のこれまでの実績及びその評価を伺いたい。また、建設事業者不足により復旧工事が行えないことや補助金申請手続の負担軽減等の課題に対し、どのように取り組んでいるか。
- ・平成27年12月の慰安婦問題に関する日韓合意に基づく我が国の拠出金及び現状の認識を伺いたい。
- ・公文書管理の適正性を担保するため、電子決裁後に公文書を修正したとき、その指示の履歴が記録されるようシステムを改修するべきではないか。

## 大河原雅子君（立憲）

- ・平成27年9月の台風18号の影響により鬼怒川が決壊し甚大な被害が発生した。平成17年度から26年度までの鬼怒川の河川改修及び湯西川ダム建設事業の予算額とその二つを比較した率を伺いたい。
- ・水害前の鬼怒川全体の堤防整備率を栃木県側及び茨城県側に分けて伺いたい。
- ・秋田県の雄物川の最上流に成瀬ダムが建設されているが、氾濫防止に役立つとは考えられない。成瀬ダムの集水面積及び雄物川の流域面積とその二つを比較した率を伺いたい。

## 青山大人君（国民）

- ・近年の一般会計予備費の当初予算への計上額が3,500億円となっている根拠について伺いたい。
- ・予備費の使用については、明確な基準を設定する必要があるのではないか。
- ・選挙における投票率を向上させるためにどのような取組を進めていくのか伺いたい。

## 安住淳君（無会）

- ・平成29年12月8日に閣議決定した新しい経済政策パッケージの中で、2020年度のプライマリーバランス黒字化目標の達成は困難と書かれている。その理由について、消費税増収分の一部を社会保障費の充実に充てることとしたとのことだが、財務大臣は使途変更に同意したのか伺いたい。
- ・2020年度のプライマリーバランス黒字化目標は、経済成長で税収が賄えるという実現困難な見通しを基に達成するとしている。総選挙後に財政再建路線を変えた安倍内閣の無責任な対応について伺いたい。
- ・本年の夏に決定される財政健全化方針についての取組姿勢について伺いたい。

## **宮本徹君（共産）**

- ・シェアハウス関連融資問題に関してスルガ銀行が公表した調査結果を踏まえた今後の対応について伺いたい。
- ・基地騒音訴訟に伴う賠償金について、米国に対して日米地位協定に基づく75%の負担分の支払を求める取組の実施状況について伺いたい。
- ・陸上自衛隊立川駐屯地の土日のヘリコプター体験搭乗について、住民の騒音被害を踏まえ廃止する必要があると考えるが、防衛大臣の見解を伺いたい。

## **杉本和巳君（維新）**

- ・予備費の意義について政府の見解を伺いたい。
- ・予備費は、災害の多い我が国にとっては欠かせない予算措置であるとも考えられるが、平成28年の熊本地震と23年の東日本大震災に係る会計検査を通じて、復旧等に効果的であったと思料される予備費の使用事例について、会計検査院に伺いたい。